

楽しくボールに親しむ 5歳児がサッカー教室に参加

阿田和保



インストラクターと一緒にボールを追いかける園児

財団法人三重県サッカー協会キッズ委員会主催のサッカー教室が7日、御浜町立阿田和保育園(南枝折園長)であった。5歳児24人が参加し、JFA公認キッズインストラクターの松尾剛志さんと長島健太郎さんに教わりながらボールに親しんだ。

えている的場俊介さんが招き、実施した。園児らは最初に、体全体で「グー・チョキ・パー」を表すじゃんけんや転がってくるボールに当たらないように逃げるゲームなどでウォーミングアップ。次に、ボールを持ち、片手に乗せてバランスを取ったり、頭上に投げてキャッチしたりと、ボールに慣れる遊びをした。

同協会が、一緒にサッカーを楽しむことにより、子どもたちに体を動かすことの喜びに触れてもらい、運動が好きな子どもを一人でも多く増やすことのきっかけになればと、県内の保育所・園、幼稚園を巡回して指導している。同園保護者会長

では、インストラクターから「ボールを卵だと思つて。割らないように、そつと、お散歩させるように」と教わりながら、少しずつ少しずつドリブルに挑戦。最後は2チームに分かれ、向かい合うゴールへのシュート数を競うゲームを行い、園児らは「楽しい」「まだまだ遊びたい」と感想を話していた。